

2025 年度 年次レポート (事業活動報告)

一般社団法人 保険者機能を推進する会

I. 一般社団法人保険者機能を推進する会の概況

1. 設立年月日

2001 年 5 月 10 日（法人登記 2010 年 12 月 22 日）

2. 定款に定める目的

保険者機能の原点は、被保険者・被扶養者のために、

- ・ 良質な医療を確保する
- ・ 保険料を効率的に活用する
- ・ 保健事業に代表される健康づくりを推進する

ことにあり、この実施・実現が保険者の使命である。

本会は、保険者自身が集い、参画し、この保険者の使命の実施・実現のため、保険者機能の研究とその具体的方策の実行を目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- ①保険者機能に関わる各種調査・研究等
- ②組合健保の役職員に必要な知識、スキル、モラル向上のための研修等
- ③公的医療保険の制度上または運営上の改善、改革を要請する活動等
- ④保険者機能を効果的、効率的に発揮するための会員健保組合間並びに関係団体等を含めた連携および共同事業の推進
- ⑤その他、定款に定める目的を達成するために必要な事業

4. 会員の状況

	種類	区分	2025 年度末	2024 年度末	増減
会員数	正会員	単一健保	119 組合	114 組合	5 組合増
		総合健保	1 組合	1 組合	増減なし
			120 組合	115 組合	5 組合増
	準会員		1 団体	1 団体	増減なし
			121 団体	116 団体	5 団体増

5. 事務所の状況

主たる事務所：東京都千代田区神田北乗物町 11 番地 乗物町第一ビル 4 階

電話番号 03-5577-5411 FAX 03-5577-5413

E-mail hokensha@kino-suishin.org

ホームページ <https://www.kino-suishin.org/>

Ⅱ. 会員一覧

2026 年 3 月 31 日現在の会員数は 121 団体(正会員:120 健保 準会員:1 団体)

◆正会員:120 健保(50 音順)

会員健康保険組合名		
IHI グループ	JNC	日本マクドナルド
アイシン	塩野義	日本旅行
アクサ生命	資生堂	ノバルティス
アクセンチュア	シナネン	野村證券
アサヒグループ	ジャックス	パイオニア
味の素	住友不動産ステップ	博報堂
azbil グループ	全日本空輸	パナソニック
アフラック	ソニー	阪急阪神
イオン	第一三共グループ	BIJ
石塚硝子	大王製紙	PHC
H.U. グループ	大正製薬	PwC
エーザイ	太陽生命	日立
SMBC 日興証券グループ	大陽日酸	日立建機
SG ホールディングスグループ	大和証券グループ	ファイザー
FR	武田薬品	フジクラ
FWD 生命保険	DIC	富士通
MSD	TDK	富士フイルムグループ
大塚製薬	ディスコ	ブリヂストン
オートバックス	デンソー	プレス工業
小田急グループ	東京海上日動	ポーラ・オルビスグループ
オリンパス	東京瓦斯	ボッシュ
花王	東芝	丸井
カシオ	TOTO	三越伊勢丹
協和キリン	TOPPAN グループ	三菱
キリンビール	トピー	三菱ケミカル
近畿日本ツーリスト	トラスコ中山	三菱重工
グラクソ・スミスクライン	トランス・コスモス	三菱商事
栗田	ニコン	三菱電機
計機	ニチレイ	三菱 UFJ 証券グループ
KDDI	日産自動車	三菱 UFJ ニコス
国際興業	日本製鉄	明治安田生命
コスモスイニシアグループ	日本アイ・ビー・エム	明電舎
コニカミノルタ	日本航空	安田日本興亜
小松製作所	日本コロムビア	山崎製パン
鷺宮	日本事務器	ヤマトグループ
サッポロビール	日本製鋼所	ヤマハ
C&R グループ	日本ゼオン	雪印メグミルク
シーイーシー	日本赤十字社	リクルート
CNC グループ	日本発条	レンゴー
ジェイアールグループ	日本ヒューレット・パッカード	ローソン

◆準会員:1 団体

健康保険組合連合会 京都連合会

Ⅲ. 役員一覧

(2026 年 3 月 31 日現在)

会長	代表理事	小川 佳政	非常勤	ファイザー健康保険組合 常務理事
副会長	代表理事	若林 国弘	非常勤	三菱電機健康保険組合 常務理事
副会長	理事	小川 英樹	非常勤	東京海上日動健康保険組合 常務理事
副会長	理事	木村（沼越）園子	非常勤	日本ヒューレット・パッカート [®] 健康保険組合 常務理事
副会長	理事	小宗 邦彦	非常勤	MSD 健康保険組合 常務理事
副会長	理事	永井 立美	非常勤	デンソー健康保険組合 常務理事
	理事	飯島 一彦	非常勤	鷺宮健康保険組合 常務理事
	理事	井坂 徳雄	非常勤	C&R グループ [®] 健康保険組合 常務理事
	理事	岡 敏樹	非常勤	日本航空健康保険組合 理事長
	理事	海宝 和養	非常勤	アクセンチュア健康保険組合 常務理事
	理事	新谷 真治	非常勤	パナソニック健康保険組合 常務理事
	理事	竹本 覚	非常勤	武田薬品健康保険組合 常務理事
	理事	戸津 玲	非常勤	グラクソ・スミスクライン健康保険組合 常務理事
	理事	日原 順二	非常勤	計機健康保険組合 常務理事
	理事	福井 浩明	非常勤	日立健康保険組合 常務理事
	理事	松戸 美穂	非常勤	資生堂健康保険組合 常務理事
	理事	安井 英二	非常勤	阪急阪神健康保険組合 専務理事
	理事	六田 忠志	非常勤	富士フイルムグループ健康保険組合 常務理事
	理事	渡邊 真剛	非常勤	三菱健康保険組合 常務理事
	監事	宇都宮 猛	非常勤	大和証券グループ健康保険組合 常務理事
	監事	栗坂 禎一	非常勤	日本製鉄健康保険組合 常務理事

IV. 事業の概況

1. 事業の実施状況

(1) 事業の概況

研究会をはじめとする各種事業については、対面とオンラインを併用しながら、積極的な活動を行ってまいりました。とくに、研究会活動の成果をより広く発信するため、これまで実施してきた「保険者機能推進全国大会」を「保険者フェスタ 2025」として、名称や内容を大きく一新して開催し、当会の活動をより広く知っていただく機会としました。また、組織運営面においても大きな見直しを行いました。会員団体数の増加に伴い、副会長および理事の定数を増員する定款変更を行い、会員健保組合の期待に応えるとともに、円滑な組織運営を可能とする体制にしました。さらに、これまで年 2 回開催していた定時総会を実質的に年 1 回の総会に集約し、「前年度の総括を踏まえて当年度の計画を議論する」という一連の流れを明確化することで、総会を「会の方針を会員全体で議論し、決定する場」として位置付けました。

(2) 事業の活動状況

◆研究会活動

2025 年度は、期初 9 研究会でスタートしましたが、6 月に新たに委託先セキュリティ研究会を立ち上げ、合計 10 研究会が活動いたしました。その中で、レセプト・健診データ分析研究会の活動成果が、日本経済新聞電子版(2025 年 12 月 3 日)および、日本経済新聞朝刊 経済面(2025 年 12 月 4 日)にとりあげられました。対面での活動が活発化すると同時に、オンラインの利点を生かしたハイブリッド形式での活動も継続しています。研究会の特性や取り扱うテーマによって開催方法や活動手段の選択肢が増え、参加者にとっての利便性向上につながりました。また、学会での発表を行う研究会も増加し、関係機関との意見交換の機会も増えるなど、対外的な情報発信の面でも、活動が大きく発展した 1 年でもありました。

<各研究会の活動状況>

研究会名	リーダー(所属健保) ※敬称略	参加者数	開催回数
レセプト・健診データ分析研究会	宮下 匡弘 (計機健保)	46 名	10 回
健診事業のあり方研究会	戸津 玲 (グラクソ・スミスクライン健保)	43 名	10 回
特定保健指導応用研究会	佐久間 淳 (BIJ 健保)	43 名	11 回
女性の健康研究会	井坂 徳雄 (C&R グループ健保)	39 名	5 回
シニアの健康研究会	鳥居 勤 (ヤマハ健保)	46 名	10 回
たばこ対策研究会	淵上 武彦 (コニカミノルタ健保)	52 名	10 回
療養費適正化研究会	原 直人(トピー健保) 三瓶 円(azbil グループ健保)	50 名	10 回
扶養認定基準研究会	赤羽 修 (プレス工業健保)	68 名	10 回

研究会名	リーダー(所属健保) ※敬称略	参加者数	開催回数
マイナンバー特別研究会	水村 朱希 (日本ヒューレット・パッカート健保)	12 名	7 回
委託先セキュリティ研究会	上原 京子 (PwC 健保)	47 名	6 回

※参加者数は 2026 年 1 月 1 日現在のものです。

◎保険者フェスタ 2025

当会の活動成果の内外への発信力を一層高めることを目的に、毎年秋に開催してきた「保険者機能推進全国大会」をリニューアル、名称を「保険者フェスタ 2025」に改め、開催しました。

9 つの研究会がそれぞれのブースにて、活動内容や成果の展示・プレゼンテーションを行いました。最後のセッションでは、東京大学特任教授 古井祐司先生より、各研究会に対するご講評をいただきました。

会場参加者 444 名、WEB 参加 151 名、未加入の健康保険組合からも 45 名にご参加いただきました。会の一体感を高め、活動の価値を可視化するイベントとなりました。



2025 保険者フェスタ
～活動の実りをシェアしよう～

11 月 20 日(木) 13:00-17:00

会場 星陵会館 1F～3F 東京都千代田区永田町 2-16-2
※健保関係者は参加費無料です。(事前参加登録をお願いします。)

■ オープニング 13:00-13:10 2F ホール

■ 研究会セッション 13:15-14:45 1F、2F、3F
(出展研究会) 出展会場を巡回ください

レセプト・健診データ分析研究会 特定保健指導応用研究会
女性の健康研究会 シニアの健康研究会 たばこ対策研究会
救急費適正化研究会 扶養認定基準研究会 マイナンバー特別研究会

■ 特別講演会 15:00-16:30 2F ホール
<健診事業のあり方研究会 企画>
がん検診の“質”を守るしくみ
～職域のがん検診での精度管理ってなに?～

講師: 国立がん研究センター 高橋宏和先生
摂南大学 農学部食品栄養学科 教授 小川徹夫 先生

■ クロージング 16:30-17:00
講師: 東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授 古井 祐司先生

一般社団法人 保険者機能を推進する会

◎医療保険制度ゼミナール

2025 年度は、以下の内容にて開催をいたしました。

開催日	開催内容	会場	参加者数
第 36 回 4 月 18 日	『在宅医療の現状とこれから』 医療法人社団悠翔会 理事長 佐々木 淳 先生	ハイブリッド (東京連合会)	60 名
第 37 回 3 月 11 日	『協会けんぽの保健事業』 協会けんぽ 理事 鳥潟 美夏子氏 保健企画グループ長 園川 太郎 氏	ハイブリッド (TKP 市ヶ谷)	135 名

◎基礎知識研修会

2025 年度は、以下の内容にて開催をいたしました。

開催日	開催内容	会場	参加者数
第 1 回 6 月 6 日	『禁煙外来32年のエキスパートが伝える たばこの基礎知識』 日本禁煙科学会 理事長 高橋 裕子先生	オンライン	163 名

また、基礎知識研修会特別講座 分析勉強会として、以下の内容を開催いたしました。

講師：東京大学大学院 特任助教 後藤 英子先生

開催日	開催内容	会場	参加者数
第1回 6月6日	初級編：分析にまつわる基礎知識を身につける	ハイブリッド (TKP 市ヶ谷)	65 名
第2回 12月16日	中級編：保健事業の評価に役立つ分析法を身につける	ハイブリッド (東京連合会)	64 名
第3回 1月23日	中級～上級編：自健保のデータを実際に分析し、 結果を参加者間で共有し理解を深める	ハイブリッド (東京連合会)	43 名

◎常務理事ネットワークの会

2025 年度は、以下の内容にて開催をいたしました。

開催日	開催テーマ	会場	参加者数
第1回 7月31日	2つのテーマでグループディスカッション ＜テーマ＞ ①マイナ保険証一体化について ②健保の組織に関すること	ハイブリッド (東京連合会)	43 名
第2回 10月31日	健保業務の DX に関するグループディスカッション ①基幹システムを用いた DX(効率化)の推進 ＜事例発表＞ TDK 健康保険組合(UBS) 大和証券グループ健康保険組合(大和総研) ②健保内部の工夫による DX(効率化)	ハイブリッド (東京連合会)	41 名
第3回 1月30日	『健康保険組合 生成 AI 活用講習会』 YG 健康保険組合 来田 宣之氏 ※事務長も参加対象としました	ハイブリッド (東京連合会)	109 名

◎事務長ネットワークの会

2025 年度は、以下の内容にて開催をいたしました。

開催日	開催テーマ	会場	参加者数
第1回 9月29日	『各健保の取り組み状況・課題、質問事項』 ・事前作成資料を基に、各健保の状況を発表 ・後日、各健保からの質問に各健保が回答	オンライン	28 名

◎その他の勉強会、情報交換会など

開催日	行 事 名	会場	参加者数
4 月 17 日	「医療 DX を活用した保健事業の取組等に対する財政支援」に関する説明および質疑応答の会 健康保険組合連合会 理事 秋山 実氏 担当部長 平澤 勇樹氏	オンライン	122 名 (非会員含む)
6 月 25 日	「マイナンバー特別研究会主催 情報共有会」 第 1 部 マイナンバー特別研究会より 1) 会員アンケート集計結果のご紹介 2) 事例紹介 ①「資格確認書 発行対象を減らすロードマップ」 日本ヒューレット・パカード健康保険組合 水村 朱希氏 ②「保険証廃止・資格確認書一括職権交付の早期対応について」 住友不動産ステップ健康保険組合 苗村 敏江氏 ③「資格確認書の電磁的交付について」 パナソニック健康保険組合 大門 啓二氏 第 2 部 健保連との情報共有 保険証廃止をめぐる最近の情勢および健康保険組合としての対応について、 健康保険組合連合会 政策部 担当部長 鈴木 俊明氏 からの情報共有	オンライン	256 名
3 月 30 日	「扶養認定基準研究会主催 扶養認定基準の変更に関する通知・事務連絡に関する説明会」 講師：健康保険組合連合会 担当部長 鈴木 俊明氏	ハイブリッド (TKP 秋葉原)	WEB: 260 名 会場: 48 名

レセプト・健診データ分析研究会

<テーマ>

全体テーマ：研究会参加健保の健保特定健診&特定保健指導データを
共通の分析ツールを使用し、自健保や参加健保全体としての
課題抽出およびその対策を検討する

グループワーク：グループで健診&レセプトデータの深掘り分析を行い
保健事業の課題を見つけその改善方法を検討

<参加条件>

◎スキル、経験は不問

(※但し、保健事業の経験者の方がより理解はしていただき易い)

◎ハイブリッド開催となりリモート参加者はMicrosoft Teams利用が可能な方

◎研究会の『全体テーマ』に必要な「特定健診の直近⇔5年前比較用データ」と
「特定保健指導翌年変化分析ツール用データ」(いずれも個人情報なし)を
作成いただける保険者

◆研究会メンバー(2026年3月現在)

リーダー：木下 健次郎(パナソニック)、宮下 匡弘(計機)

担当理事：日原 順二(計機)、福井 浩明(日立)

顧問：東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授 古井 祐司先生

アドバイザー：東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授 井出 博生先生

東京大学 大学院医学系研究科 特任助教 後藤 英子先生

順天堂大学 看護学部 助教 岡部 花枝先生

参加者数：34健保 46名

<参加健保>

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	DIC	13	ファイザー	25	資生堂
2	SGホールディングスグループ	14	ポーラ・オルビスグループ	26	小松製作所
3	SMBC日興証券グループ	15	ヤマハ	27	大塚製薬
4	TOTO	16	丸井	28	大陽日酸
5	アクサ生命	17	計機	29	大和証券グループ
6	オートバックス	18	阪急阪神	30	東芝
7	カシオ	19	鷺宮	31	日産自動車
8	麒麟ビール	20	三菱UFJ証券グループ	32	日本航空
9	コニカミノルタ	21	三菱	33	日立
10	ジェイアールグループ	22	三菱重工	34	富士フイルムグループ
11	ジャックス	23	三菱商事		
12	パナソニック	24	三菱電機		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月23日	①体制・組織・進め方の提案・決定 ②職種・職制別チームメンバー決定 ③新年度メンバー自己紹介など	東京大学伊藤国際 学術センター
第2回	6月20日	①全体テーマ 今年度データ抽出説明 ②グループワークテーマの検討	丸井健保会議室
第3回	7月18日	①グループワークメンバー決定→グループワーク活動開始	丸井健保会議室
第4回	8月19日	①グループワーク活動（グループ内テーマ検討）	丸井健保会議室
第5回	9月11日 ～12日	①保険者フェスタ取り組み方法検討 ②健保毎の保健事業概要比較 ③グループワーク活動（グループ内テーマ検討）	パナソニック リゾート大阪
第6回	10月24日	①保険者フェスタ取り組み方法検討 ②グループワーク活動（グループ内テーマ検討）	丸井健保会議室
第7回	11月21日	①グループワーク活動（グループ内テーマ検討）	丸井健保会議室
第8回	12月19日	①グループワーク活動（抽出した自健保の特徴と課題などの議論） ②グループワーク活動（グループ内テーマ検討）	丸井健保会議室
第9回	1月22日	①グループワークのまとめ方針討議	丸井健保会議室
第10回	3月19日	①グループワーク報告会 ②来年度の活動計画	東京大学伊藤国際 学術センター

◆研究会活動内容（TOPICS）

◎研究会活動

<前半>

全体テーマを中心に活動

特定健診データを元に作成する「健康分布図」や「特保効果分析ツール」についての理解を深め、ツール等の課題や改善点、活用方法についての検討。

各健保で「健康分布図」と「特保効果分析ツール」で他健保との比較を行う事で自健保の実態を確認。

★前半の後期は11月20日の保険者フェスタへの出展準備に取り組んだ。

<後半>

グループワークを中心に活動

下記4つのグループに分かれ、議論・検討を行った。

- ①特定保健指導の効果分析グループ
- ②基礎知識を学ぼうグループ
- ③伝え方検討グループ
- ④保健事業の効果分析グループ

◎活動成果

- ・レセプト・健診データ分析研究会の分析結果が、下記メディアに掲載された
 - 日本経済新聞電子版（2025年12月3日）
 - 日本経済新聞朝刊 経済面（2025年12月4日）

健診事業のあり方研究会

＜テーマ＞

がん検診と特定健診をテーマとして活動します。

◎がん検診

「職域におけるがん検診マニュアル」や「第4期がん対策推進基本計画」に準じ、下記2点を取り組みます。

- 1) 精度管理を充実させるための実態把握や情報交換など
- 2) 科学的根拠に基づくがん検診の実施のための講義

◎特定健診

- ・被扶養者受診率が参加健保の目標値に近づくようワークショップなどを開催予定

＜参加条件＞

- ◎自健保の健診/検診を発展させたい方
- ◎ハイブリッドが基本ですが、オンラインの場合Microsoft Teamsを使用可能な方
- ◎各健保から参加は1名でお願いします（運営委員メンバー健保は除く）
- ◎期中の参加はお断りする可能性があります

◆研究会メンバー（2026年3月現在）

リーダー：戸津 玲（グラクソ・スミスクライン）
 担当理事：飯島 一彦（鷺宮）、竹本 寛（武田薬品）
 戸津 玲（グラクソ・スミスクライン）

アドバイザー：国立がん研究センター がん対策研究所 高橋 宏和先生
 摂南大学 教授 小川 俊夫先生

参加者数：41健保 43名（2026年3月）

＜参加健保＞

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	C&Rグループ	15	ノバルティス	29	三菱電機
2	DIC	16	パナソニック	30	資生堂
3	IHIグループ	17	プレス工業	31	全日本空輸
4	PwC	18	ポーラ・オルビスグループ	32	大塚製薬
5	SMBC日興証券グループ	19	ボッシュ	33	大和証券グループ
6	TDK	20	ヤマトグループ	34	東芝
7	アサヒグループ	21	塩野義	35	日産自動車
8	オートバックス	22	丸井	36	日本航空
9	カシオ	23	栗田	37	日本製鋼所
10	麒麟ビール	24	計機	38	日本発条
11	グラクソ・スミスクライン	25	阪急阪神	39	日本旅行
12	コニカミノルタ	26	鷺宮	40	博報堂
13	デンソー	27	三越伊勢丹	41	武田薬品
14	トピー	28	三菱UFJ証券グループ		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月16日	年間活動計画共有、自己紹介	WEB開催
第2回	6月6日	高橋先生講義「がん検診精度管理について」	丸井健保会議室
第3回	7月11日	がん検診精度管理およびチェックリストアンケートについて	TDK 本社会議室
第4回	8月29日	小川先生講義「がん検診精度管理システム活用」 三越伊勢丹健保 事例発表	武田薬品会議室 (大阪本社)
第5回	9月12日	被扶養者特定健診受診率アンケート ワークショップ「被扶養者の特定健診受診率をあげるために」	丸井健保会議室
第6回	10月17日	高橋先生講義「胃がん検診について」	TDK 柳橋倶楽部
第7回	11月19日	PwC健保事例発表、保険者フェスタ2025リハーサル	GSK会議室
第8回	12月12日	国立がん研究センター 田中先生講義「リテラシーとがん検診」	丸井健保会議室
第9回	1月23日	ワークショップ「がん検診の精度管理をすすめるために」	武田薬品会議室 (東京本社)
第10回	3月6日	2025年度活動のまとめ	GSK会議室
番外編1	6月18日	はじめての健診研 ～日本一やさしい勉強会～	WEB開催
番外編2	11月27日	産業衛生学会全国協議会での研究成果の発表	あわぎんホール (徳島)
番外編3	2月27日	総合評価指標（加算減算）勉強会	WEB開催

◆研究会活動内容（TOPICS）

◎研究会活動

①基本知識および参加健保からのインプット

事例発表：三越伊勢丹健康保険組合、PwC健康保険組合

アドバイザー等講義：高橋先生（国がん）、小川先生（摂南大） 田中先生（国がん）

②参加健保実態把握

- ・がん検診精度管理アンケート
- ・胃がん検診のためのチェックリストアンケート
- ・被扶養者の特定健診実施率アンケート

③参加健保の健診事業企画運営のために>

- ・ワークショップ
- ・質問コーナー（すべての参加健保に聞いてみたいこと）

◎外部発表

第35回 産業衛生学会全国協議会

厚生労働省 がん対策推進総合研究事業研究班

「大腸がん検診における健保組合と自治体の精度管理体制の比較」

へるすあっぷ21 9月号（法研発行）

「動き始めた職域がん検診の精度管理」

保険者フェスタ 特別講演 アドバイザー高橋先生、小川先生登壇

「がん検診の「質」を守るしくみ ～職域のがん検診での精度管理ってなに？～」

特定保健指導応用研究会

＜テーマ＞

前年に引き続き、「研究会」「分科会（グループ）」の2本立てで活動します。

◎研究会活動

事例発表による情報交換等を継続するとともに、アンケートの分析やアドバイザーの津下先生との情報交流等を積極的に実施して、有益かつタイムリーな情報提供を行います。

◎分科会（グループ）活動

研究会から得られた各種情報をテーマ別に深く掘り下げ、特定保健指導はもとより、生活習慣病関連の保健事業に関する課題とその解決策を検討していきます。

＜参加条件＞

◎特定保健指導及び関連保健事業等の情報を提供できる方

◎自健保だけでは解決が難しい特定保健指導関連の保健事業の課題をお持ちの方

◎楽しみながら、特定保健指導および保健事業をよりよくしたいと考えている方

◆研究会メンバー（2026年3月現在）

リーダー：佐久間 淳（BIJ）

担当理事：海宝 和養（アクセンチュア）、六田 忠志（富士フイルムグループ）

アドバイザー：女子栄養大学教授 津下 一代先生

参加者数：36健保 43名（2026年3月）

＜参加健保＞

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	BIJ	13	パナソニック	25	山崎製パン
2	DIC	14	ファイザー	26	資生堂
3	IHIグループ	15	ポーラ・オルビスグループ	27	小松製作所
4	SGホールディングスグループ	16	ボッシュ	28	小田急グループ
5	TDK	17	ヤマトグループ	29	大塚製薬
6	アクセンチュア	18	ヤマハ	30	大和証券グループ
7	オムロン（★京都連合会）	19	花王	31	日産自動車
8	カシオ	20	丸井	32	日本ゼオン
9	キリンビール	21	協和キリン	33	日本航空
10	グラクソ・スミスクライン	22	栗田	34	日本旅行
11	シーイーシー	23	三菱UFJ証券グループ	35	富士フイルムグループ
12	ニチレイ	24	三菱重工	36	野村證券

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月9日	研究会（自己紹介、2024年度の活動について）	BIJ会議室
第2回	6月10日	分科会（グループ）活動について、分科会（グループ）キックオフ	BIJ会議室
第3回	7月31日	分科会（グループ）活動、研究会（事例発表：2健保）	BIJ会議室
第4回	8月19日	分科会（グループ）活動	BIJ会議室
第5回	9月26日	分科会（グループ）活動、研究会（事例発表：3健保）	TDK会議室
第6回	10月27日	分科会（グループ）活動 ※保険者フェスタ2025 準備	BIJ会議室
第7回	11月28日	研究会（津下先生 ミニ講演会、トークセッション）	BIJ会議室
第8回	12月19日	研究会（事例発表：1健保）、事業所施設見学	ヤマハ健保会議室
第9回	1月21日	分科会（グループ）活動	BIJ会議室
第10回	2月27日	研究会（ベンダー説明会）	BIJ会議室
第11回	3月25日	分科会（グループ）活動、研究会活動 の2025年度のまとめ	BIJ会議室

- ★分科会（グループ）は下記3テーマで活動
- ・特定保健指導実施率の向上に対するアプローチ
 - ・リピーター対策
 - ・重症化予防の保健事業

◆研究会活動内容（TOPICS）

- ・研究会活動と分科会（グループ）活動の2本立てで活動した。

＜研究会活動＞

- ①事例紹介（6健保より事例共有）
- ②アンケート（2回）実施し、結果を共有
 - ・基本情報（参加健保、参加者のプロフィール）
 - ・特定保健指導に関する詳細アンケート
- ③アドバイザー津下先生のミニ講演会＋トークセッション実施
- ④特定保健指導のベンダー説明会を実施（1回：4社参加）
- ⑤施設見学会（ヤマハ）

＜分科会（グループ）活動＞

- ①特定保健指導実施率の向上に対するアプローチ
 - 特保実施率向上のための効果的な施策の検証
 - ②リピーター対策
 - リピーターの定義・分類、リピーターマップの作成
 - ③重症化予防の保健事業
 - 重症化予防の分析（検査項目、基準値、対象者の階層化など）
 - 重症化予防プログラムの内容について（提供業者からの情報収集を含む）
- ※各分科会（グループ）とも7回開催し、議論・検討を行った。
 ※分科会（グループ）の研究成果は、3月の研究会で全体に共有された。

女性の健康研究会

<テーマ>

女性の健康に関し、専門家・研究者やFemtechの事業会社からの情報の取得や協働による研究、また他健保の成功事例等の共有などにより、研究会参加健保の課題の解決につなげていきたい。

さらに、その成果を本会の参加健康保険組合にも共有し、本会全体の取組へとつなげていきたいと考えております。

<参加条件>

- ◎ 研究会への参画を通じて、実現したい目的・目標がある方
- ◎ 自身が研究会の運営を担う意気込みのある方

◆研究会メンバー（2026年3月現在）

リーダー : 井坂 徳雄（C&Rグループ）
 担当理事 : 井坂 徳雄（C&Rグループ）、小川 英樹（東京海上日動）

顧問 : 女性ライフクリニック銀座・新宿理事長 対馬 ルリ子先生
 オブザーバ : 法研 編集部 へるすあっぷ21 星野 篤子氏

参加者数：32健保 39名（2026年3月）

<参加健保>

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	azbilグループ	12	ジャックス	23	三菱UFJ証券グループ
2	C&Rグループ	13	トピー	24	小松製作所
3	IHIグループ	14	トランス・コスモス	25	大和証券グループ
4	PwC	15	パイオニア	26	東京海上日動
5	SGホールディングスグループ	16	パナソニック	27	日産自動車
6	TOPPANグループ	17	ファイザー	28	日本マクドナルド
7	TOTO	18	ボッシュ	29	日本航空
8	アサヒグループ	19	ヤマトグループ	30	日本発条
9	カシオ	20	丸井	31	明電舎
10	グラクソ・スミスクライン	21	計機	32	野村證券
11	シーイーシー	22	国際興業		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月16日	①全員からの一言自己紹介 ②情報交換（他のメンバーに聞きたいこと、伝えておきたいこと） ③2025年度の活動方針（研究会全大会と分科会活動）	C&R本社会議室
第2回	7月18日	①Femtech事業者の紹介（リンケージ生理痛体験） ②情報交換（他のメンバーに聞きたいこと、伝えておきたいこと） ③分科会活動報告 ◎共同保健事業分科会 リーダー：C&R健保 川畑 ◎プレコンセプションケア分科会 リーダー：C&R健保 井坂 ④「保険者フェスタ2025」への準備について	C&R本社会議室
第3回	9月19日	①情報交換（他のメンバーに聞きたいこと、伝えておきたいこと） ②2025年度の健康経営度調査の動向について ③分科会活動報告 ④「保険者フェスタ2025」への準備について	C&R本社会議室
第4回	12月19日	①情報交換（他のメンバーに聞きたいこと、伝えておきたいこと） ②協会けんぽの取り組みの紹介 ③協会けんぽとの意見交換 ④分科会活動報告	C&R本社会議室
第5回	3月13日	①情報交換（他のメンバーに聞きたいこと、伝えておきたいこと） ②分科会活動報告 ③日本女性財団 国際女性デーイベントへの参加について ④2025年度女性研活動振り返りアンケートの共有 ⑤2026年度の活動方針について	C&R本社会議室

★上記の活動の他に、下記2テーマで分科会活動を実施

- ・共同保健事業分科会
- ・プレコンセプションケア分科会

◆研究会活動内容（TOPICS）

◎研究会全体会活動

- ・事前アンケートによる事例共有
- ・Femtech事業者の紹介：生理痛体験（保険者フェスタで紹介）
- ・健康経営度調査項目の共有＝事業主とのコラボヘルス
- ・日本女性財団主催、国際女性デーイベントへの参加

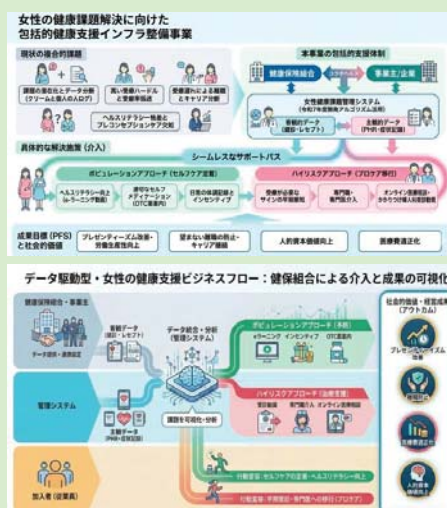
◎分科会活動

- ①プレコンセプションケア分科会
- ・YouTubeチャンネル限定公開



- ②共同保健事業分科会

- ・医療DX活用共同保健事業
- ・厚労省公募事業共同参加



シニアの健康研究会

<テーマ>

- ①若い世代へのアプローチも含めた健康なシニア世代を迎えるための口コミ、アイフレイル等の諸課題に関する健保間で共有し、活用できるコンテンツの研究と作成
- ②シニア世代のリスク低減に向けて筋力低下者への指導を目的とした握力測定を必須項目とする等の健康診断・保健指導の見直しについての政策研究

<参加条件>

共に研究会を盛り上げていただける方なら特段のスキルや経験は問いません

◆研究会メンバー（2026年3月現在）

リーダー：山田 京（リクルート）
 担当理事：若林 国弘（三菱電機）、岡 敏樹（日本航空）
 沼越 園子（日本ヒューレット・パッカー）

参加者数：41健保 46名（2026年3月）

<参加健保>

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	C&Rグループ	15	パナソニック	29	資生堂
2	FWD生命保険	16	ファイザー	30	住友不動産ステップ
3	IHIグループ	17	ポーラ・オルビスグループ	31	全日本空輸
4	アサヒグループ	18	ボッシュ	32	太陽生命
5	カシオ	19	ヤマトグループ	33	大塚製薬
6	グラクソ・スミスクライン	20	ヤマハ	34	日産自動車
7	コスモスイニシアグループ	21	リクルート	35	日本ヒューレット・パッカー
8	コニカミノルタ	22	レンゴー	36	日本航空
9	シーイーシー	23	花王	37	日本事務器
10	シナネン	24	丸井	38	日本製鋼所
11	ジャックス	25	計機	39	博報堂
12	ディスコ	26	三菱UFJ証券グループ	40	富士通
13	トピー	27	三菱電機	41	野村證券
14	トランス・コスモス	28	山崎製パン		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月13日	①2024年度の活動の振り返り ②2025年度の予定の共有 ③参加メンバーの自己紹介	東京連合会 会議室
第2回	6月24日	①推進する会⇔厚労省保険課の意見交換会の報告 ②日本航空健保の健康経営の取り組み事例の共有 ③アイフレイルの受診勧奨の紹介 ④かかりつけ医によるみなし健診実施内容の共有	東京連合会 会議室
第3回	7月8日	①大宮シテッククリニック訪問報告 ②アイフレイルチームの方向性・参加状況の共有 ③出張眼科健診（共同事業）への参加の呼びかけ ④保険者フェスタ2025に向けて ⑤グループ討議：ロコモやアイフレイルについて健保でできる取り組みの掘り下げ	東京連合会 会議室
第4回	8月5日	①保険者フェスタ2025 に向けて骨子の決定→「なにに」「ふむふむ」「やってみよう」 ②アイフレイルチームから進捗報告 ③かわら版について：参加健保の状況の共有 ④グループ討議	東京連合会 会議室
第5回	9月9日	①ヤマハ健保の取り組み事例の共有 ②保険者フェスタ2025に向けて ③アイフレイルチームから進捗報告 ④体力測定会の提案 ⑤グループ討議	東京連合会 会議室
第6回	10月16日 ～17日	①高齢者医療制度の歴史と後期高齢者支援金制度、前期高齢者納付金についての講義 ②グループワーク：各健保の保健事業の内容共有→自健保で実施できそうなものを検討	ヤマハ（浜松）
第7回	11月11日	①健保の取り組み事例の紹介（5m歩行テスト、宿泊型ヘルスアップセミナー） ②グループ討議：各健保の取り組みについて「良いところを褒める」	東京連合会 会議室
第8回	12月9日	①保険者フェスタ2025 の振り返り ②資生堂健保の取り組み事例の共有 ③ロコモ チャレンジ！推進協議会の紹介と取り組みの共有（協議会事務局 野口様の講演） ④グループ討議	東京連合会 会議室
第9回	1月14日	①取り組み事例の紹介 -日産健保の活動実績：ロコモ予防を中心に上野理事長より説明 -出張眼科健診トライアル：OUI Inc 中山氏の講演および実際の体験	日産自土砂
第10回	3月10日	①2025年度の活動の振り返り ②2026年度の活動について	東京連合会 会議室

◆研究会活動内容（TOPICS）

前提として、シニアの健康を考える際、

- 「因」と「果」がわかりにくい
 - なってからでは遅い。
 - 若い世代には「シニアの健康」って言われても「我がごと感」がない
 - 処方箋がない。あったとしても「バランスの良い食生活と適度な運動」面白くない
- など、活動を進めていくうえで、「不」や「未」が多い
→探求

2025年6月12日
大宮シテッククリニック 中川先生を訪問

背景

健保は、ロコモやアイフレイルといった高齢期の健康課題の重要性を認識する中で、
対策や取組みに苦慮している

- 健保間で情報の共有や意見交換を行っている
- 国へも特定健診項目に入れ、結果に基づく指導がされることの要請活動も検討

目的

- 健康診断においてロコモ度テストを先進的に導入し、企業や健保にその実践を
指導されている中川先生に話を聞く、また大宮シテッククリニックの現場を視察
- 今後シニア研へアドバイスをいただける機会があるかを伺う

同席者： 中川 良 先生（大宮シテッククリニック理事長
千葉大学大学院医学研究院消化器内科学
次世代予防医療創生講座特任准教授）
亀谷 招弘さん（業務統括本部 総務企画部 部長代理）
森山 優 先生（大宮シテッククリニック副所長）
新井 智之先生（埼玉医科大学保健医療学部 理学療法学科 教授）



◆研究会活動内容（TOPICS）

前提として、シニアの健康を考える際、

- 「因」と「果」がわかりにくい
 - なってからでは遅い。
 - 若い世代には「シニアの健康」って言われても「我がごと感」がない
 - 処方箋がない。あったとしても「バランスの良い食生活と適度な運動」面白くない
- など、活動を進めていくうえで、「不」や「未」が多い
→探求

2025年12月9日

ロコモチャレンジ！推進協議会 事務局 野口 真理子さまをお迎えし講演

背景

ロコモチャレンジ！推進協議会は、「会に必要なのは、

1. 学会との緊密な連携で学問的正当性を担保しつつ、新知見を継続的に発信し続ける仕組み。
2. 社会的な課題に取り組みつつ、企業の経済的利益を担保する仕組み。
3. 企業による経済活動と、ステークホルダーを巻き込んだ社会課題の解決の両立と考えられており、シニア研で語られている思想に近いものがあつた

目的

- ロコモチャレンジ推進協議会のみならず、山田恵子先生とも親交を深めシニア研のアドバイザー的な立場になっていただくという可能性も探りつつ人脈を拡大していく。

同席者： 山田 恵子 先生
埼玉県立大学准教授



◆研究会活動内容（TOPICS）

2025年11月20日 保険者フェスタ2025

シニア研も参加し、大いに盛り上がりました！

今期の盛り上がりは、コレにつきます！

テーマは、「元気なシニア」になるために、「今」何が必要か？

ゾーニング

なにになに？

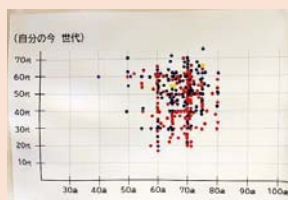
- 興味を持ってもらう
- シニアって何歳から？（アンケート実施）

ふむふむ

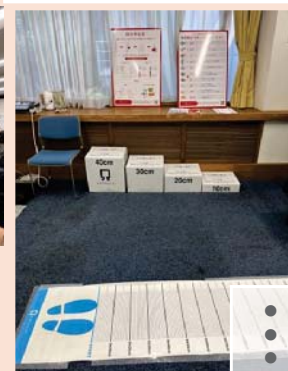
- 体験してもらう
- あなたのロコモ度/アイフレイル度は？

やってみよう！

- 持ち帰ってもらう
- あなたの健保の参考に
- 各健保事例紹介



- シニアって何歳から？（アンケート結果）



- 立ち上がりテストと2STEPテストと4m歩行を実施
- 体験していただいたみなさま、本気ですw
- アイフレイル診断も実施



- メンバー皆さんの健保の取組紹介の紹介！グループ討議の賜物です♪
- お互いの良いところ付箋！
- 古井先生も授業に取り入れちゃおう！ってお褒めいただきました！！

たばこ対策研究会

<テーマ>

【全体活動テーマ（全員参加）】

①作りながら「マナブ」

- ・「たばこ対策コンテンツ集」の更新

②情報共有しながら「マナブ」

- ・各健保のたばこ対策事例共有、専門家からの講演（効果的な広報テクニック）

【チーム活動テーマ（任意・選択制）】

①研究・分析チーム（6ヶ月間：6～11月）

- ・「タバコとレセプトの関係性」または「喫煙問診分析」（予定）

②外部交流活動チーム（不定期：6～1月）：

- ・国会議員や外部研究・活動機関などとの連携

<参加条件>

◎Microsoft Teams活用可能な方（対面・オンラインのハイブリッド開催）

◎楽しみながら活動できる方

★万が一当日ご欠席の場合でも動画配信します。

★関東以外での開催も企画予定です。

◆研究会メンバー（2026年3月現在）

リーダー： 洲上 武彦（コニカミノルタ）

担当理事： 小川 佳政（ファイザー）、岡 敏樹（日本航空）
安井 英二（阪急阪神）、松戸 美穂（資生堂）

顧問： 日本禁煙科学会 理事長 京都大学医学部 特任教授 高橋 裕子先生

アドバイザー：フリー（元NHKためしてガッテンプロデューサー） 北折 一氏

オブザーバー：サンライフ企画 営業部 岡崎昭正氏
サンライフ企画 編集部 松本りえ氏

参加者数：37健保 52名（2026年3月）

<参加健保>

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	FWD生命保険	14	ディスコ	27	資生堂
2	IHIグループ	15	トピー	28	小松製作所
3	SGホールディングスグループ	16	ニチレイ	29	小田急グループ
4	TDK	17	ファイザー	30	石塚硝子
5	TOTO	18	ポーラ・オルビスグループ	31	雪印メグミルク
6	アイシン	19	ヤマトグループ	32	大塚製薬
7	オートバックス	20	花王	33	日産自動車
8	カシオ	21	丸井	34	日本航空
9	キリンビール	22	栗田	35	日本事務器
10	コニカミノルタ	23	阪急阪神	36	富士フイルムグループ
11	シーイーシー	24	三越伊勢丹	37	野村證券
12	シナネン	25	三菱商事		
13	ソニー	26	山崎製パン		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月9日	①活動方針・スケジュールの案内 ②世界禁煙デーについて ③事務連絡	WEB開催
第2回	6月6日	★基礎知識研修会（推進する会）での高橋先生のご講演 ①たばこ対策コンテンツ集 ②グループワーク情報交換 ③チーム活動	コマツ会議室
第3回	7月4日	①たばこ対策コンテンツ集 ②グループワーク情報交換 ③チーム活動	コマツ会議室
第4回	8月1日	①たばこ対策コンテンツ集 ②グループワーク情報交換 ③チーム活動	コマツ会議室
第5回	9月5日	①たばこ対策コンテンツ集 ②グループワーク情報交換 ③チーム活動	コマツ会議室
第6回	10月3日	①たばこ対策コンテンツ集 ②グループワーク情報交換 ③チーム活動	コマツ会議室
第7回	11月7日	①たばこ対策コンテンツ集 ②グループワーク情報交換 ③チーム活動	TDK会議室
第8回	12月5日	①たばこ対策コンテンツ集 ②グループワーク情報交換 ③チーム活動 ④禁煙支援士（中級・上級）募集 ⑤来期研究テーマについて	ニチレイ会議室
第9回	1月9日	①たばこ対策コンテンツ集 ②グループワーク情報交換 ③チーム活動 ④来期研究テーマについて	コマツ会議室
第10回	3月6日	①2025年度活動の振り返り ②来期活動について ③情報交換会	東京連合会 会議室
番外編	10月25日 ～26日	第20回 日本禁煙科学会 学術総会 in 京都 での発表	京都大学 医学部G棟

◆研究会活動内容（TOPICS）

◎外部イベント・取り組み

- ・10月25日～26日開催された、第20回日本禁煙科学会 学術総会にて発表した。
 - 推進する会、たばこ対策研究会の活動内容の紹介
 - 「健康経営」を基軸とした喫煙対策の軌跡と今後の展望
 - 公益社団法人 日本柔道整復師会 様 との連携の背景

◎全体活動

- ①作りながら“マナブ”：「たばこ対策コンテンツ集」の更新
 - ・3つのチームに分かれ、更新作業実施
 - ・最新情報を調査しながら学 の機会と併せ作業進行

- ②情報共有しながら“マナブ”：たばこ対策事例共有、専門家からの講演

◎チーム活動

- ①「研究・分析」チーム：タバコとレセプトの関係性
 - ・外部専門業者との連携により効率的に実施
- ②「外部交流活動」チーム：国会議員や外部研究・活動機関などとの連携
 - ・日本柔道整復師会や区議会議員との連携の場を創出

療養費適正化研究会

＜テーマ＞

- 療養費を取り巻く環境・実態等の理解、把握(事例共有・関係者の講演)
- 自健保における柔整療養費の分析と加入者に対する療養費の適正利用の啓発(データ分析・動画作成・リーフリット作成を班別にワーキング予定)
- 他健保との比較から理解する自健保での課題・問題点の抽出(事例発表・情報交換)

＜参加条件＞

- ◎ハイブリッド型で研究会を開催しますが、ワーキング活動をする日程の際には、対面参加できる(意思のある)方
- ◎研究会は皆さん自身で作るものなので、積極的に発言や発表を行える方
- ◎「情報共有」を中心とした回(事例発表や自健保の適正化取組の発表等)では、リーダーではなく、各班での持ち回りで資料作成・進行等を行ってもらい、できるだけ多くの方に係わっていただきます。

なお、研究会の参加スタイルは、

☆全てに参加

☆情報交換を中心に行う回に参加

☆講演会中心の回に参加

☆ワーキング活動を中心に行う回に参加

等コース別参加としますが、

どのコースを選択するにも、まずは当研究会に参加登録をお願いいたします。

◆研究会メンバー（2026年3月現在）

リーダー：原 直人（トピー）、三瓶 円（azbilグループ）

担当理事：小宗 邦彦（MSD）、永井 立美（デンソー）

アドバイザー：一般財団法人保険療養費審査等受託機構 伊藤 和美氏

参加者数：37健保 50名（2026年3月）

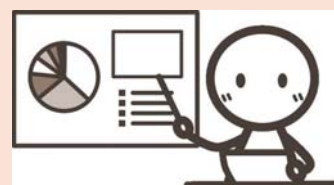
＜参加健保＞

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	azbilグループ	14	ニチレイ	27	東芝
2	CNCグループ	15	パナソニック	28	日産自動車
3	IHIグループ	16	ファイザー	29	日本コロムビア
4	MSD	17	ボッシュ	30	日本ゼオン
5	SMBC日興証券グループ	18	ヤマハ	31	日本ヒューレット・パッカー
6	カシオ	19	安田日本興亜	32	日本マクドナルド
7	麒麟ビール	20	丸井	33	日本発条
8	シーイーシー	21	栗田	34	日立建機
9	ジャックス	22	阪急阪神	35	博報堂
10	ソニー	23	三菱UFJ証券グループ	36	富士通
11	デンソー	24	三菱電機	37	野村證券
12	トピー	25	山崎製パン		
13	トランス・コスモス	26	小松製作所		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月13日	①参加メンバー自己紹介 ②2025年度活動計画説明	丸井健保会議室
第2回	6月19日	①講演会：健康保険組合連合会 幸野参与、政策部 松田氏 ②3つのワーキンググループの方向性議論	丸井健保会議室
第3回	7月17日	①講演会：元衆議院議員(元厚生労働省副大臣) 橋本 岳氏 ※現在は衆議院議員 ②3つのワーキンググループ活動	丸井健保会議室
第4回	8月21日	①3つの班での情報共有（事例・取組発表）	丸井健保会議室
第5回	9月18日	①3つのワーキンググループ活動	丸井健保会議室
第6回	10月23日	①講演会：浜田山病院理事長・院長 小瀬 忠男氏 ②3つのワーキンググループ活動	丸井健保会議室
第7回	11月18日	①3つのワーキンググループ活動 ②3つの班での情報共有（事例・取組発表）	丸井健保会議室
第8回	12月18日	①3つの班での情報共有（事例・取組発表）	丸井健保会議室
第9回	1月15日	①講演会：公益社団法人日本柔道整復師会副会長 山崎邦夫氏・事務局長 岡田安正氏 ②3つのワーキンググループ成果発表	丸井健保会議室
第10回	3月12日	①2025年度活動の振り返り	丸井健保会議室
番外編	5月8日	新規研究会参加者オリエンテーション	推進する会 事務所

◆研究会活動内容(TOPICS1)



◎外部発表

・日本臨床整形外科学会(JCOA)シンポジウム(1/31)にて、「保険者から見た柔整療養費～保険者の裁量とは」の演題で、「不支給事例の判断」及び「患者ごとの償還払い制度の導入事例とその効果」について を発表した。

(発表者:トピー健保・パナソニック健保)

※「健康保険2月号」に発表内容が掲載

◎研究会活動

＜選択別コース＞を採用 ＜対面参加＋オンラインによるハイブリッド開催＞

①全コース参加

②事例発表コース(班分け発表)

③講演会視聴コース

④ワーキングコース

(a)柔整療養費月報データ分析(b)動画企画検討(c)柔整療養費適正化リーフレット作成

④ ②＋③ ②＋④ ③＋④ 等

◎講演会

①健康保険組合連合会 幸野参与 政策部 松田氏

②元衆議院議員(元厚生労働省副大臣) 橋本 岳氏 (※現在は衆議院議員)

③浜田山病院理事長・院長 小瀬 忠男氏

④公益社団法人日本柔道整復師会副会長 山崎 邦夫氏・事務局長 岡田 安正氏

◆研究会活動内容(TOPICS2)

【保険者フェスタ 2025】

◎研究会活動の紹介

- ①柔整療養費とは？の概要説明
- ②柔整療養費月報データの分析
- ③接骨院(整骨院)の広告(看板)クイズ
- ④治療用装具の展示・説明
- ⑤柔整適正化リーフレットの紹介 等



◎研究会活動の関連内容の紹介

「バーチャル鍼灸院体験」

※大阪万博

京都ゾーン『ICHI-ZA一座きょうと』内、「いのち」の
区画で出展されたものを保険者フェスタで実体験。

★協力:明治国際医療大学鍼灸学部 伊藤学部長



扶養認定基準研究会

<テーマ>

2025年度は班活動を中心とした情報共有を行います。

- ・ 認定審査の向上
- ・ 12月2日の保険証廃止に向けた取り組み
- ・ 扶養現場での不合理について対応を検討

<参加条件>

どなたでも参加可能です。

従来通り対面での参加を基本の活動になります。

Webでのご参加も可能ですが、得られる情報が限られる可能性があります

◆研究会メンバー（2026年3月現在）

リーダー：赤羽 修（プレス工業）

担当理事：小川 佳政（ファイザー）、小宗 邦彦（MSD）

参加者数：55健保 68名（2026年3月）

<参加健保>

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	azbilグループ	20	ノバルティス	39	小松製作所
2	DIC	21	パナソニック	40	全日本空輸
3	FR	22	ファイザー	41	太陽生命
4	IHIグループ	23	フジクラ	42	大和証券グループ
5	MSD	24	プレス工業	43	東京瓦斯
6	PwC	25	ヤマトグループ	44	東芝
7	SGホールディングスグループ	26	ヤマハ	45	日産自動車
8	SMBC日興証券グループ	27	ワコール（★京都連合会）	46	日本ゼオン
9	TDK	28	花王	47	日本ヒューレット・パッカー
10	アイシン	29	丸井	48	日本航空
11	アクセンチュア	30	協和キリン	49	日本製鉄
12	アサヒグループ	31	栗田	50	日本発条
13	イオン	32	阪急阪神	51	日本旅行
14	オリンパス	33	三越伊勢丹	52	日立建機
15	サッポロビール	34	三菱UFJ証券グループ	53	博報堂
16	シーイーシー	35	三菱ケミカル	54	富士通
17	ディスコ	36	三菱電機	55	野村證券
18	トランス・コスモス	37	山崎製パン		
19	ニチレイ	38	資生堂		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月16日	①2024年度の振り返り ②2025年度の研究会運営方法説明 ③参加メンバー自己紹介	東京連合会 会議室
第2回	6月20日	①保険者フェスタ参加について ②2024年度の全国大会の発表内容を映像で確認 ③班活動スタート	TDK本社 会議室
第3回	7月18日	①不服申立審査会の報告 ②19歳以上23歳未満の扶養認定通知解説 ③決定通知書の発送について ④班活動による情報共有 ⑤班活動結果の情報共有	TDK柳橋倶楽部 会議室
第4回	8月29日	①班活動による情報共有 ②研究会への相談事例についての情報共有 ③班活動結果の情報共有	TDK柳橋倶楽部 会議室
第5回	9月19日	①班活動による情報共有 ②保険者フェスタで発表する事例について	TDK柳橋倶楽部 会議室
第6回	10月24日	①班活動による情報共有 ②保険者フェスタ当日の役割分担について ③班活動結果の情報共有	東京連合会 会議室
第7回	11月7日	①班活動による情報共有 ②保険者フェスタ展示物の作成 ③研究会への相談事例についての情報共有	TDK柳橋倶楽部 会議室
第8回	12月18日	①全体会情報共有（保険者フェスタの結果、資格確認書職権交付、厚生局監査結果） ②班活動情報共有（夫婦共同扶養、介護保険適用除外）	TDK柳橋倶楽部 会議室
第9回	1月30日	①全体会情報共有（不服申立審査会決定書、共同扶養・研究会のアンケート結果） ②班活動情報共有（研究会への相談事例）	TDK柳橋倶楽部 会議室
第10回	2月19日	①全体会情報共有（通知の解釈、3月30日健保連説明会の詳細案内・説明） ②班活動情報共有（健保連説明会に向けての質問事項、研究会への相談事例）	TDK柳橋倶楽部 会議室

◆研究会活動内容（TOPICS）

◎全体会と班活動

- ・当研究会は参加人数が多く全体会と班活動に分けて情報共有を行いました
全体会では主に通知や審査請求状況、また保険証廃止に伴う対応方法など

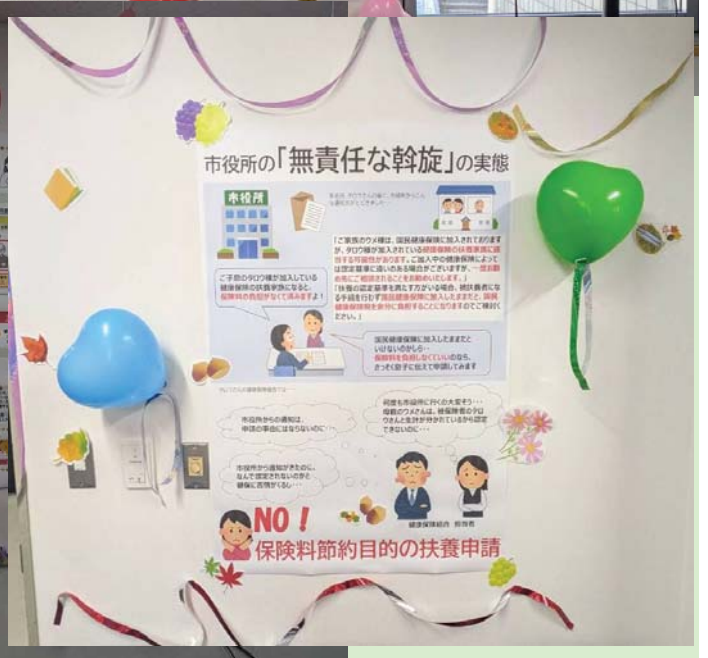
班活動では事例を元に他健保の情報収集や自健保のお困りごとなどを
班内でディスカッションすることで解決方法などの情報を収集できました

◎フェスタ活動

- ・運営委員の中で展示物の案を決め班活動にて詳細を纏めて行きました
班活動では活発な意見交換が行われ裏付けのためのアンケート調査
掲示物の作成などを行いました
当日の飾りつけも朝から行い来場者からも一番良かったと意見を頂きました

◎扶養認定に関する健保連説明会の開催

- ・3月30日に健保連の鈴木部長と原田様から「扶養認定基準の変更に関する
通知・事務連絡にかかる説明会」について説明会を開催いたしました。
当日は2部制で実施し第1部では扶養研現地参加48名とWeb参加260人と
308名の方々にご参加頂きました。
第2部は研究会メンバーと健保連の方々との意見交換で
判断が難しい事例についても意見交換を行い、有意義な機会となりました。



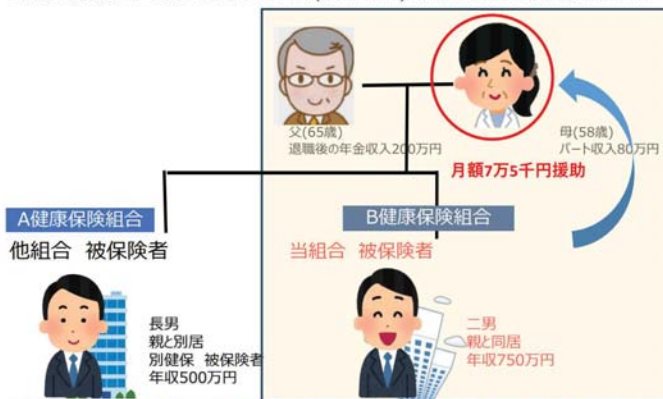
扶養認定しますか？ しませんか？ あなたはどっち？

申請内容

父が定年（65歳）により退職。それまで父が扶養していた母を扶養したい。
被保険者である二男が母を扶養したいと申請してきた。

背景

父と母と二男は同居。長男とは別居。
父は退職後、200万円程度の年金収入あり。
母は、パート収入として80万円程度の年収がある。
当健保の被保険者の二男は、母に月額7万5千円（年間90万円）を援助している。長男は送金していない。



あなたならどう判定しますか？ 下記にシールを貼ってください！！

母親を認定する

5 1

母親を認定しない

3 4

扶養認定しますか？ しませんか？ あなたならどうする？



【被保険者：標準報酬月額560千円】
同居している無職の子供を扶養に入れたい。

被保険者



標準報酬560千円

被扶養者（配偶者）



収入 0円

同居の子（25歳）

退職後、雇用保険失業手当受給終了し、
現在も無職 しばらく働く予定なし。
ただし、株式の売買を行っており、
譲渡所得、配当金の収入がある。
前年の所得証明書で株式の売買所得
あり。
（上場株式等譲渡所得200万円）

今後は大きな売買は行わないと言っては
いるが、配当金は年100万円見込み
売買頻度、回数、売買金額等は未定。

あなたならどう判定しますか？ 下記にシールを貼ってください！！

申請ベースで認定

8

前年の株売買益＋配当金が130万円を超えるので否認

2 7

前前年の課税証明書等を提出してもらい、2年連続して
株売買益＋配当金が130万円を超えていたら否認

8

現在所有している株式の評価額・配当金額・売買回数
を確認して総合的に判断する

3 0

マイナンバー特別研究会

(期間、参加メンバーを限定した研究会)

<テーマ>

マイナ保険証一体化に向けて、2024年度に引き続き、
健保組合・加入者が抱える課題を整理し、厚労省・健保連と連携をとりながら
課題解決のための提言を行っていく

会員向けアンケート等の実施・集計結果を推進する会ホームページ等で公表
事務長ネットワークの会とのコラボ等、情報・意見交換会を実施する

<参加条件>

参加メンバーを限定した研究会のため、参加条件は記載しません

◆研究会メンバー（2026年3月現在）

リーダー：水村 朱希（日本ヒューレット・パッカー）

担当理事：沼越 園子（日本ヒューレット・パッカー）、永井 立美（デンソー）

参加者数：8健保 12名（2026年3月）

<参加健保>

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	C&Rグループ	4	三菱電機	7	日本ヒューレット・パッカー
2	パナソニック	5	資生堂	8	日本航空
3	三越伊勢丹	6	住友不動産ステップ		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	4月9日	①参加メンバー自己紹介 ②研究会活動全体の担当・分担、運営ルールについて ③4月実施：会員向けアンケート ④6月実施：情報・事例共有イベント ⑤厚生労働省保険課との意見交換会について	WEB
第2回	5月28日	①保険者フェスタへの参加について ②電子申請WG（5/26開催）の情報共有 ③6/25のマイナ研イベントに向けての準備状況の確認 ④メンバー内での情報共有・質問等 ⑤健保連 鈴木氏との意見交換会	推進する会 事務所
第3回	7月29日	①事例共有：デンソー健保 ②他の健保への質問・共有事項について ③情報共有会アンケート結果レビュー ④健保連への質問・確認事項 ⑤健保連からの協力依頼について	推進する会 事務所
第4回	10月15日	①保険者フェスタの準備状況の確認 ②他の健保への質問・共有事項について ③健保連への質問・確認事項 ④健保連からの協力依頼について	推進する会 事務所
第5回	12月10日	①来年度の活動について ②保険者フェスタ・レビュー ③健保間の情報共有・質問	推進する会 事務所
第6回	12月24日	①厚労省：小菅室長補佐との意見交換 ②健保連からの事前質問に関連した意見交換 ③その他要望・確認事項について	健保連本部 会議室
第7回	3月2日	①来年度の活動について ②他の健保への質問・共有事項について ③健保連への質問・確認事項	推進する会 事務所

◆研究会活動内容（TOPICS）

◎推進する会内部への情報展開

- ・マイナンバー研究会主催「情報共有会」を6月25日に開催した。

①事前に会員へのアンケートを実施。集計結果の共有

②マイナンバーへの対応に関する事例発表

- ・日本ヒューレット・パッカー健康保険組合

「資格確認書発行対象者を減らすロードマップ」

- ・住友不動産ステップ健康保険組合

「保険証廃止・資格確認書一括化への早期対応について」

- ・パナソニック健康保険組合

「資格確認書の電磁的交付について」

③健保連 政策部担当部長 鈴木俊明氏と研究会メンバーとの意見交換

★229名（厚生労働省保険課、健保連の視聴者含む）が参加。満足度が極めて高い

◎外部からの情報収集・意見交換

①健康保険組合連合会

- ・電子申請ワーキンググループ

②厚生労働省

◎研究会メンバー内での情報共有

- ・デンソー健康保険組合の取り組みの共有
- ・その他、各回での個別の情報共有実施

委託先セキュリティ研究会（新設）

＜背景＞

健保が加入者向け健保関連サービスを提供（＝業務委託）するため、加入者の要配慮個人情報を含め委託する外部企業・組織体におけるサイバーセキュリティ管理態勢の点検・指導のスキームの検討を実施してきた。その取組のなかで、預託する情報の質・量（種別）という実態に即し、かつ、関連する法令要件に適切に基づいた点検を行うためのチェックリスト、および当該チェックリストをどのようにに活用するかという健保職員向けの手引書を整備した。

今後、より多数の健保組合によるコメント・レビューを通して、精緻化していく必要がある。

＜テーマ＞

- ◎委託先セキュリティのチェックリストや手引きを、研究会の参加組合とともに更なる精緻化・高度化を図ることで、業務委託元である健保組合が、委託先に預託する加入者情報に関するセキュリティ上の管理・説明責任を自立的に果たしていくための仕組みを整備（チェックリスト・手引書の精緻化）すること
- ◎上記の整備の中で抽出した、各健保の自助努力では対応できない構造的な課題（ヒト・カネ・モノに係る課題）について、健保連や協会けんぽ、厚労省等、関係官庁・団体に対して提言し、課題解決に向けた活動を促進させること

◆研究会メンバー（2026年3月現在）

リーダー：上原 京子（PwC）
 担当理事：戸津 玲（グラクソ・スミスクライン）
 沼越 園子（日本ヒューレット・パッカー）
 アドバイザー：7名

参加者数：32健保 47名（2026年3月）

＜参加健保＞

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	BIJ	12	トビー	23	三菱商事
2	C&Rグループ	13	ノバルティス	24	三菱電機
3	DIC	14	パナソニック	25	小松製作所
4	MSD	15	ブリヂストン	26	日産自動車
5	PwC	16	ポーラ・オルビスグループ	27	日本ヒューレット・パッカー
6	SMBC日興証券グループ	17	協和キリン	28	日本航空
7	アイシン	18	栗田	29	日本事務器
8	アクセンチュア	19	阪急阪神	30	日本発条
9	グラクソ・スミスクライン	20	鷺宮	31	富士通
10	シナネン	21	三越伊勢丹	32	野村證券
11	デンソー	22	三菱UFJ証券グループ		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	5月29日	①参加メンバー自己紹介 ②研究会の活動方針、活動計画、参加メンバーへの依頼事項 ③研究会活動内容などについて参加メンバーからの質疑応答	PwC セミナールーム
第2回	6月30日	①前回の研究会の内容の振り返り・リマインド ②外部委託先アセスメントの説明 ③外部委託先一覧と元にグループディスカッション ④次回までの依頼事項	PwC セミナールーム
第3回	8月29日	①前回までの研究会の内容の振り返り・リマインド ②外部委託先アセスメント実施結果の共有 ③担当委託先チェックリストの提出状況・回答内容のグループ内での共有 ④研究会の取り組み内容などについてのグループディスカッション→発表 ⑤次回までの依頼事項	PwC セミナールーム
第4回	10月2日	①前回までの研究会の内容の振り返り・リマインド ②研究会でできること、関係機関に提言することについてグループでの意見交換→発表 ③次回までの依頼事項	PwC セミナールーム
第5回	12月11日	①前回までの研究会の内容の振り返り・リマインド・課題の整理 ②課題に対するグループディスカッション→ディスカッション内容の発表 ③次回までの依頼事項	PwC セミナールーム
第6回	3月10日	①今年度の取り組みと意見のとりまとめ ②各テーマ別の活動の総括と次年度のアクション案 ③次年度検討対象とする委託先サイバー攻撃対策チェックリスト（案）の紹介 ④サイバーリスク・インシデントのトレンド情報（講義）	PwC セミナールーム

◆研究会活動内容（TOPICS）

◎テーマA：委託先のセキュリティを評価するためのチェックリストや手引きのアップデート
＜活動内容＞

- ①委託先に預託するデータの種別・量の精査
- ②高リスク委託先へのセキュリティチェックの依頼・回収
- ③委託先からの回答結果の自己点検
- ④参加健保間での意見交換・ディスカッション

＜総括＞

健保内部

- ・リスクベース型評価手法の困難さ
→健保が評価手法自体を健保のセキュリティリテラシーに寄せる思考の転換が必要

健保外部＝委託業者との関係

- ・委託事業者との契約関連スキームの見直しに伴う、内外関係者との調整の必要性
→ 契約書等、委託先に対して法的拘束力を有する文書に反映すべきセキュリティ要件の
踏み込んだ検討・精査が必要（非弁行為にならない範囲で）

◎テーマB：各健保の自助努力では対応できない課題への対応

＜活動内容＞

- ・意見交換・協議 →内容を整理した上で、関係団体・官庁への提言内容のとりまとめ・提示

＜総括＞

- ・研究会の取組・提言内容への反応は好意的
- ・アクションの検討となると、様々な課題（特に法律・契約面）が懸案となり、議論が停滞
- ・関係官庁・団体が公開する既存のガイドライン・手引き、
また現行の他団体の指導・監査の取組との重複が多いとの指摘もあり

適切な傷病手当金給付勉強会（新設）

◆設立の背景

コロナ禍を経て、傷病手当金の給付金額は多くの健保で増加し、一方で適切な支給、不支給の判断をおこなうための事例・判例の情報が少なく、給付担当者のみならず上長である事務長、常務理事も給付判断に困っているのが実情です。

具体的にはメンタルヘルスのみならず、フィジカル疾病においても、同一私傷病、社会的治癒の判断、また療養実態の無い傷病手当金の申請、資格喪失後給付における状況確認の困難さ等、傷病手当金を取り巻く課題は多く存在しています。

健康保険組合としてより適切に対応するために、事例・判例の勉強、各健保の考え方等の共有による知識の向上が必要と考えているため当勉強会を設立しました。

◆活動目的・テーマ

- ①健康保険組合として適切な傷病手当金給付ができるようになる
- ②被保険者にとって傷病手当金の受給条件を把握し、適切に療養することができる
- ③上記を通じて、健康保険料の適正活用を行う

そのために…

- ・多くの健保の判断事例を持ち寄り、学ぶことで、判断事例の羅針盤とする
- ・多くの健保が困っている事例・案件に対し、行政との意見交換を行う
- ・社会保険審査会の採決例を学ぶ
- ・医師会との率直な意見交換を行う
- ・事業主への適切な働きかけを模索する

→行政への実態報告や改善提案なども視野に入れて活動したい

◆研究会メンバー（2026年3月現在）

リーダー：守谷 祐子（花王）

担当理事：海宝 和養（アクセンチュア）

アドバイザー：ファストドクター(株) メンタルクリニック監修医師 宮田 智里先生

参加者数：49健保 63名（2026年3月）

＜参加健保＞

No	健保名	No	健保名	No	健保名
1	BIJ	18	ファイザー	35	小松製作所
2	C&Rグループ	19	フジクラ	36	全日本空輸
3	FR	20	ブリヂストン	37	太陽生命
4	IHIグループ	21	プレス工業	38	大和証券グループ
5	PwC	22	ポーラ・オルビスグループ	39	東京ガス
6	SMBC日興証券グループ	23	ボッシュ	40	東芝
7	TDK	24	ヤマトグループ	41	日本アイ・ビー・エム
8	アイシン	25	リクルート	42	日本ゼオン
9	アクセンチュア	26	レンゴー	43	日本ヒューレット・パッカード
10	オリンパス	27	花王	44	日本製鉄
11	ジャックス	28	協和キリン	45	日本赤十字社
12	ソニー	29	栗田	46	日本発条
13	デンソー	30	阪急阪神	47	日本旅行
14	トピー	31	三越伊勢丹	48	日立建機
15	トランスコスモス	32	三菱商事	49	博報堂
16	ニチレイ	33	三菱電機		
17	ノバルティス	34	資生堂		

◆研究会開催スケジュール

回数	日時	内容	会場
第1回	6月27日	◎キックオフ ・勉強会の目的の共有 ・今後の進め方のディスカッション	アクセンチュア 会議室
第2回	8月29日	◎メンタルヘルス ・3つのテーマ（同一私傷病、社会的治癒、資格喪失後給付）に分かれてグループワークと情報共有	花王（茅場町） 会議室
第3回	10月2日	◎オンライン診療 精神疾患のマクロ環境と精神医療について ・ファストドクターおよびファストドクター宮田医師から精神科産業医から見たメンタルヘルス疾患対応レクチャー	花王（茅場町） 会議室
第4回	12月2日	◎医師照会 ・事前質問を元に、医師照会の際の疑問点についての質疑と各健保の対応策の共有 ・宮田医師からのコメント	東京連合会 会議室
第5回	1月20日	◎医師照会 ・事前質問を元に、医師照会の際の疑問点についての質疑と各健保の対応策の共有 ・宮田医師からのコメント	東京連合会 会議室
第6回	3月26日	◎文書料、傷手フォーマットの取り扱い（公的見解） ・初回申請時のチェックポイント ・寄せられた課題についての全体ディスカッション	東京連合会 会議室

◆勉強会活動内容(TOPICS)

◎勉強会活動 **もやもや**を晴らすための仕掛け

【現状把握】アンケート:各健保の取り組み状況や質問、疑問をアンケートで集約
 ・75%以上の健保がメンタルの傷病手当金の給付が70%以上
 ・みんな同じことで悩んでる
 （同一私傷病・社会的治癒・資格喪失後給付・医師照会等・・・）

【共同解決】意見交換:グループディスカッション、全体ディスカッション
 ・困っていることを教えてもらえる・こんなやり方があったんだ
 ・スーパーファイター健保がいる！

【公的見解】健保連・厚生局等の見解:
 ・医師照会の文書料払わないといけないの
 ・傷病手当金のフォーマット変えたいんだけど・・・

【専門知識】医師コメント:宮田医師からの示唆に富んだコメント
 ・実は医師はこう思っている
 ・医師は患者から求められた診断書を拒否することはできない
 ・健保からの働きかけも必要かもしれない・・・

一般社団法人 保険者機能を推進する会

2026 年 8 月 1 日作成